

東日本大震災復興支援シリーズチャリティ

団十郎、ワレフスカ、バッハプラスと続いて第四弾！

チャイコフスキーの覇者 奇跡のデュオ

ナサニエル・ローゼン & 福原彰美 デュオリサイタル

Cello

Nathaniel Rosen

第6回チャイコフスキーコンクール優勝

ナサニエル・ローゼン

Piano

Akimi Fukuhara

CHANEL ビグマリオンティズ 2011年度アーティスト

福原彰美



ハイドン / ディベルティメントニ長調

Hydn/Divertimento in D

ブラームス / チェロソナタ 第2番

Brahms/Sonata for Cello no.2 in F, Op. 99

フランク / ヴァイオリンソナタ

Frank/Sonata for Violin in A

ブルッフ / コル・ニドライ

Bruch/Kol Nidre

ウェーバー / アダージョとロンド

Weber/Adagio and Rondo

2014年3月1日(土)

14:30 開演 (14:00 開場)

日立システムズホール仙台コンサートホール

(仙台市青年文化センター)

前売 **¥2,000** 学生 **¥1,000** ※学生券は大学生まで適用されます。
当日券は各500円増

チケットのご予約 celloko@gmail.com ※住所・氏名・電話番号を明記してお送りください。

※国際チェロアンサンブル協会会員割引一律500円 前売のみ (会員のみ) ※被災地からの特別招待あり

【協力】 国際チェロアンサンブル協会、東北大学東北メディカル・メガバンク機構、だいじよぶ!とうほく

【主催・問合せ】 ローゼン・福原を聞く会仙台実行委員会 委員長 高橋 明 (celloko@gmail.com, 090-2980-4106)

【プレイガイド】 仙台・杜の響きコンサート (022-302-3344)、ヤマハミュージックリテイリング仙台店、カワイミュージックショップ仙台、けやきの杜

*収益金の一部を「高田松原を守る会」に寄附します。/曲目などは一部変更となることもあります。/未就学児のご入場はご遠慮願います。

特設ウェブサイト <http://akirasnd.wix.com/rf14>



Cello

ナサニエル・ローゼン

Nathaniel Rosen

1948年カリフォルニア生まれ。弁護士でアマチュアピオリストの父のもと、6歳からチェロを始める。13歳で、伝説的チェロ奏者にして教育者のグレゴール・ピアティゴルスキーに出会い、師が指導育成に力を注ぐ南カリフォルニア大学「音楽科特待生クラス」に迎え入れられる。

22歳からは同クラスにおいて師の助手を務め、以降、師が亡くなるまで父子のような交情を保つ。同時期、世界的バイオリニストであるヤツシャ・ハイフェッツのマスタークラスにも招かれ、室内楽を共演する。1977年アメリカ、ヌーンバーグコンクール優勝を機に米国内デビュー。ピッツバーグ交響楽団の首席チェリストに就任。翌年、第6回チャイコフスキー国際コンクールでアメリカ人初のチェリストとして金メダルを受賞、以降世界的名手として広く知られるところとなる。

ロサンジェルス交響楽団を始めとして、ニューヨーク、チェコ、ライブチヒ、フィラデルフィア、ミネソタ、スイス、ドレスデン、ロンドン、ピッツバーグ、シアトル、アトランタ、シンシナチ、インディアナポリス、ダラス、ヒューストン、バンクーバーなど、世界各地のオーケストラにソリストとして招かれる。カーネギーホールにてメニューイン、スターン、ズーカマン、プレヴィンなどと共演、またセンチュリークラブにてジャズクラリネットの第一人者ベニー・グッドマンと共演する。ジョン・ウィリアムス指揮、ボストンポップスとのチャイコフスキー/ロココの主題による変奏曲共演も話題となった。

これまでの来日は、チャイコフスキーコンクール優勝後、東京、大阪でのリサイタル。1966年～1999年の笛吹国際音楽祭、2002年札幌、2004年清水勝雄メモリアルコンサートにて、皇后陛下のご来臨を賜る。インターロックン夏期室内音楽祭の芸術監督、アラスカ・シトカ夏期音楽祭の創始者の一人でもある。ダラス市のサウスメソジスト大学、ニューハンプシャー州トーマス大学、マンハッタン音大にて教鞭をとる。録音には、パッハ、ブラームス、メンデルスゾーン、チャイコフスキー、ショスタコヴィッチ、などのCDがある。使用楽器は1738年製の「モンタニャーナ」。2011年2月より日本在住。日本での演奏・教育活動にも熱心に取り組んでいる。

Piano

福原彰美

Akimi Fukuhara

大阪府出身。1994年PTNA・C級金賞、1995年日本学生音楽コンクール小学生の部西日本大会2位、他。15歳で単身渡米、サンフランシスコ音楽大学およびジュリアード音楽院で学ぶ。これまでにワールド・ユースシンフォニー、カリフォルニア・ユースシンフォニー、UCデイヴィス・シンフォニー、パロアルト・フィルハーモニック、サンフランシスコ・コンサヴァトリー・オーケストラ、ゼファー・ミュージック・フェスティバル・オーケストラ、マスター・シンフォニア・チェンバーオーケストラ等と共演。ロス・マッキーピアノコンクール、サンホゼ・ヤングアーティスト・オーディションで優勝。プラッツから『L'enfant de la musique』(1999)、『Akimi Plays Chopin and Liszt』(2002)をリリース。2011年に日本ウエストミンスターよりクリスティヌ・ワレフスカ(チェロ)&福原彰美DuoライブCDが発売された。

室内楽では、フレッド シェリー、クリスティヌ ワレフスカ、アレクサンダー バランチックなど著名な音楽家と共演、また現代音楽ではニューヨークのメトロポリスアンサンブルと共演する。2010年2月にハイチ大震災チャリティーコンサートでピアノソロを演奏、ニューヨークタイムズで好評を得る。また2010年、アンサンブル・トムシャ(編成:メゾピアノ、ピアノ連弾、弦楽四重奏、フルート)を結成。様々な楽器編成の楽曲を盛り込んだプログラムを試み、アメリカの由緒ある情報誌NewYorkerに掲載される。2011年チャンネル・ピグマリオンテイズ参加アーティスト。2013年春にクリスティヌ ワレフスカ氏との日本・台湾ツアーに参加し、東京・紀尾井ホールや台湾の国家音楽廳など14会場で演奏する。また同年、サンフランシスコ交響楽団の室内楽シリーズに出演し、サンフランシスコエグザミナー紙にて絶賛される。

これまでに多胡まき枝、松岡三恵、マック マックレイ、シャロン マン、ヨヘイヴェド カプリンスキーの各氏に師事。現在はニューヨークとサンフランシスコを拠点に活動中。

ホームページ <http://www.akimifukuhara.com>

